

## 臨床理学療法研究 論文投稿・執筆規定

### 1. 目的

日本私立医科大学理学療法研究会の学術雑誌として、理学療法および関連領域における、実践報告と研究発表の場を提供すること。

### 2. 希望する論文の種類

原著、症例報告、総説、特集、その他。

### 3. 投稿資格

筆頭著者の理学療法士は研究会会員に限るものとする。但し、編集委員会の決定により、会員外の著者に原稿を依頼することができる。

### 4. 原稿の採択

原稿の採否、掲載順は編集委員会で決定する。査読の結果、加筆、削除および一部書き直しを求めることがある。また、編集委員の責任において、字句の訂正を加えることがある。

### 5. 執筆規定

- ① 他誌へ発表、または投稿中の原稿でないこと。
- ② 本誌は毎年1回、7月末の発刊を予定するため、投稿論文については毎年11月1日から2月末月を投稿期間とし、締切日以降に投稿されたものについては原則、次号の審査対象とする。
- ③ 投稿に際しては必ず共著者の同意を得ること。
- ④ ヘルシンキ宣言を遵守し、ヒトを対象にする研究・報告では被験者・症例の了承を得たことを本文中に明記すること。さらに被験者または症例の個人情報を保護するため、氏名生年月日など特定の個人を識別できるような記述をしないこと。また、所属施設において個人情報保護の規定がある場合は、それに従って原稿を作成すること。所属施設の倫理委員会を経て行った研究については、承認番号を明記すること。
- ⑤ 利益相反に関する厚生労働省の指針を参照し、投稿論文の内容において利益相反の可能性がある場合には、投稿時に書面で報告すること。
- ⑥ 文章は楷書、横書き、口語体、常用漢字、現代かなづかい、数字は算用数字、単位は国際単位系(SI単位)を用いる(長さ:m, 質量:kg, 時間:s, 体積:mL, 温度:℃, 周波数:Hz, 等)。
- ⑦ 原著・総説・特集の原稿は合計8,000文字以内で作成し、症例報告は合計6,000文字以内とする。図表、写真は各1点につき400文字と換算し、8点を上限とする。著者は編集事務局に指定の書式ファイルを請求し、原稿はテキスト部分、図表部分とも当該ファイルの書式に則って作成のうえ、PDF形式で提出することとする。
- ⑧ 外国語名(地名、人名、その他)は、原則として

原語またはカタカナで表記する。略語を用いる際は、初出時に、日常生活活動(activities of daily living: ADL)のようにフルスペルを明記する。

- ⑨ 文献は引用文献のみとし、必要最小限にとどめる。該当箇所の右肩に一連番号をつけ、文末に引用順に並べる。著者が3名以上の場合は最初に2名を記載し、他と略す。

[雑誌の場合] 著者名:論文題名, 雑誌名, 西暦年号; 巻: 頁(最初-最終)。

例 1) 小澤哲也, 松永篤彦・他:維持血液透析患者に対する自覚的困難さに注目した移動動作評価表の信頼性と妥当性の検討. 理学療法学 2010; 37: 9-16.

2) Tompkins J, Bosch PR, *et al.*: Changes in Functional Walking Distance and Health-Related Quality of Life After Gastric Bypass Surgery. *Phys Ther* 2008; 88: 928-935.

[単行本の場合] 著者名:書名, 編者名, 発行所名, 発行地(外国の場合のみ), 西暦年号, 頁(最初-最終)。

例 3) 信原克哉:肩—その機能と臨床—(第3版). 医学書院, 2001, pp156-168.

4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4 in: Morrissy RT and Weinstein SL (Ed): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp97-112.

5) 名郷直樹:EBMの現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖(編), 医歯薬出版, 2008, pp18-38.

[ホームページやオンライン資料の場合] タイトルならびにURLを表記する。ただし、内容が一定の学術意義を持つものに限ることとし、また、閲覧の年月を明記すること。

例 6) 厚生労働省:平成23年(2011)人口動態統計の年間推計。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suikieil/dl/honbun.pdf> (2012年5月参照)

- ⑩ 図(写真を含む)および表は、本文とは別に提出する。本文に出てくる順でそれぞれ一連となる番号をつけ、挿入位置は本文の右欄外に指示する。図は下部に図1、図2のようにタイトルを記し、

表は上部に表1, 表2のようにタイトルを記し, 表の縦罫線は記載しない。フォントはゴシック体もしくはそれに準じるものとする。図表中に略語を用いている場合は, いずれも原語を図表の下の説明欄に明記すること。

- ⑪ 原稿の1ページ目は表紙として, 和文にて表題, 著者名, 所属, 論文の種類, 本文・引用文献の文字数と図表の点数およびその合計文字数を記し, 300字程度の和文要旨(末行に文字数記載)と和文のキーワード3語, 25文字以内のランニングヘッドタイトルを添えること。原稿には左端に行番号と一連のページ数をつける。
- ⑫ 用語, キーワードは, 「日本リハビリテーション学会用語集」などから学術用語として標準的に用いられている語彙を使用すること。
- ⑬ 原稿一部とデータディスク1枚を必ず手元に保存のうえ, E-mailによる送付により受け付ける。

## 6. 別刷

発刊後に筆頭著者に対して30部(無料)を送付する。それ以上の部数を希望する場合は50部単位で実費を徴収する。

## 7. 校正

著者校正は原則として1回とする。

## 8. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は, 日本私立医科大学理学療法研究会に属する。

## 9. 原稿送付先および連絡先

臨床理学療法研究編集委員会 編集委員長

E-mail: jpmcpt-office@umin.ac.jp

(2011年1月29日改訂)

(2012年5月29日改訂)

(2013年7月30日改訂)

(2015年11月11日改訂)